

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイールアルトちばだいまえ		
	2026年2月3日	～	2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月28日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育現場で再現しやすい具体的・実践的な支援策の提示	子どもの特性に合わせた具体的な対応方法や声掛けの工夫 その場で活用できる支援グッズや視覚支援の教材を準備・提供	保育現場で取り組みやすい支援方法や環境調整の具体案を増やす
2	専門性持ちつつ、現場と同じ目線を両立した伴走型支援	専門的な知見(特性分析や行動解釈)を持って、園の先生方や保護者と「同じチーム」の意識で問題解決に取り組んでいる	子どもの特性の理解を深め、課題となる行動の要因を見極めて保育現場と共有していく
3	園、家庭、療育施設との連携による「一貫した支援」の実現	通所の責任者や職員に記録を通して報告し、助言を受けている 必要に応じて支援会議を積極的に提案し、子どもを支えるための、園・家庭・事業所の三者のネットワークを構築している	日頃の個別療育での様子を知り、集団生活との違いを認識する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	フィードバックの方法と時間の確保	訪問先によって時間に制限がある	定期的な支援会議の開催を提案していく
2	保護者のニーズと訪問先で感じている課題をどうつなぐか	訪問支援員が直接保護者と話す機会が少ない	通所責任者から保護者との日頃のやり取りの内容を共有してもら(チャットやLINEの活用) 必要であればモニタリングに同席する
3	個別療育で習得したものを集団行動の場面で再現していくための具体案の提示	個別療育と集団生活の環境設定の違いがある	通所職員と積極的にコミュニケーションをとり、子どもの姿を共有する 支援ミーティングの開催を提案していく

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ジョイールアルトちばだいまえ

公表日 2026年3月30日

利用児童数 10

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			2		お子様に合わせた絵カード等の教材を持参し、訪問先でも効果的な支援ができるよう整えております
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1		1	3		専用の面談室がないため、今後はパーティションを設置するなど、相談しやすい環境を整えて参ります
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5					ご理解に感謝します。今後も訪問支援のニーズにしっかりと応えできるよう尽力いたします
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					今後も訪問先等との情報共有を密に行い、専門性の高い支援を継続して参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				1	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					今後も個別支援計画をもとに、最適な支援ができるよう尽力します。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5					事前に訪問先と打合せを行い、施設の活動に影響のないよう心掛けています
保 護 者 へ の 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		1		2	ペアトレ等の開催はまだありませんが、個別相談はいつでも可能です。お困りごとは気軽にご相談ください
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					

明 等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4			1	訪問先の環境に合わせ対面や書面でのフィードバックを行っております。今後も密な連携を徹底致します。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5				訪問時の状況はHUGにてご報告し、状況に合わせてLINEでも密に共有するよう努めております
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			2	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4			1	
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				訪問先とは打ち合わせを行っておりますが、保護者への共有を強化し、安心いただける周知に努めます
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				
	28	事業所の支援に満足していますか。	5				今後も満足いただけるよう、お子様一人ひとりに最適な支援を提供できるよう尽力して参ります。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年3月30日				
ジョイーレアルトちばだいまえ		利用児童数 10			回収数 11	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうしたら良いのでは、という、具体的な方法を提示していただき、それを実際に用意して下さったりします。</li> <li>・保育園で行なうには少し難しいというアドバイスもありましたが、困っていることに対しての支援の仕方を具体的に教えてくださるので、助かっています。</li> <li>・親身に相談に乗ってくれアドバイスをもらえる</li> <li>・具体的な場面について相談した時に、対応方法をいくつか教えていただけた。</li> <li>・取り入れられそうなものは取り入れていきたいと思う。</li> </ul>	日頃のご理解とご協力に感謝いたします。今後も園の環境や日々の保育の中で、先生方が実践しやすい支援の提案に努力します。園での実施が難しいと感じられた場合でも、代替案を複数提示するなど、現場の状況に即した実効性の高い支援内容を共に検討してまいります。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な視点から本人の具体的な特性傾向とそれに対する向き合い方等細かく教えてくださり助かっています。</li> <li>・具体的に、どうしたら良いか教えてくれる</li> <li>・知らないことも多く、勉強になった。</li> <li>・本人の様子からこのような時やこのタイプの子は…と特徴を教えて貰えるので、本人に合った対応を学べるのはありがたいです。</li> </ul>	「本人に合った対応」を先生方と共有し、日々の保育の一助となるよう努めて参ります。今後もお子様への理解を深めるための具体的なヒントを提案してまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる姿がある時に、質問をすると、一緒に考え、色々な可能性や正確な答えを返していただけます。</li> <li>・いつも丁寧な回答ありがとうございます。</li> <li>・一緒になって考えてくれる</li> <li>・とても丁寧に答えてくださった。</li> <li>・対応の仕方や本人が困っていそうなこと、伝え方など細かく聞いても丁寧に教えてくださるので助かります。</li> </ul>	先生方が現場で感じた疑問や懸念を大切に、共に考え、多角的な視点から解決策を探ります。先生方が日々の保育で活用できるよう、状況に応じた具体的な対応方法を、今後も一緒に検討し続けて参ります。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園側の困りごとを聞いていただいてありがたい。課題の解決までにはまだ至らないので、引き続き、専門的な視点で随時アドバイスをいただきたい。</li> <li>・本児の特性や、どのようにフォローしていくかなど詳しく知るきっかけになりました。</li> <li>・対応の仕方が、分かるようになってきた</li> <li>・対応方法がわかり、実践することや他の職員に伝えることでその子が困っていることを少しは解決できた。</li> </ul>	特性を詳しく知るきっかけを大切に、具体的な解決策を共に探ります。今後もお子様がより過ごしやすいよう、一歩ずつ着実な支援を積み重ねて参ります。未解決の課題についても、本人の観察や支援方法の協議を重ねてまいります。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度、直接の話せるのは、子供の今の状況を共通認識できる</li> <li>・いつもありがとうございます。今後もよろしくをお願いします。</li> </ul>	日頃のご理解とご協力に心より感謝いたします。今後も定期的な訪問を通し、子どもの発達と成長のため、先生方との細やかな連携を維持し、質の高い支援を提供できるよう職員一同尽力いたします。	
その他のご意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも、丁寧な関わり、支援をいただきありがとうございます。毎回のフィードバックも、とても参考になります。引き続き、よろしくをお願いします。</li> <li>・いつもありがとうございます。こちらからもよろしくおねがいいたします。</li> <li>・訪問支援についてはとても満足しておりますが、もしお時間が作れるようであれば、事業所でやっていること（支援の仕方）や今後の課題など面談する（ゆっくり話をする）時間があるといいなと思います。</li> <li>・色々アドバイスや相談事を丁寧に教えてくださるので、とてもありがたいです。これからもよろしくおねがいいたします。</li> </ul>				ご意見を踏まえた対応 現場の先生方からの温かいご評価に心より感謝申し上げます。「もっとゆっくり話す時間がほしい」という貴重なご要望に対しては、通所責任者を交えた支援会議をご提案いたします。支援会議では具体的な支援内容や今後の課題について、より深く共有でき、園とより深く運動した一貫性のあたる支援を目指すことができると考えます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジヨーレアルトちばだいまえ		公表日 2026年3月30日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
営 ・ 現 場 ・ 体 制 ・ 運 転	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5			移動が多いため、準備できるものが限られる
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	5		定期的に訪問支援のmtgを行い、振り返りや業務改善 の意見交換をしている	訪問支援員だけでなく、通所の職員との連携も大 切にしてい
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	5			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	4	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	5			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5			訪問先のニーズと保護者のニーズ、児童の困りご とが合致しないこともあり、すべてを盛り込むこ とが難しい場合がある
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	5			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	5			毎回の打合せはスケジュール的に難しい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			支援後は記録を通して支援の振り返りを行い、意 見交換するようにする
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	5				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5			支援後は記録を通して支援の振り返りを行い、通所の職員とも意見交換するようにする
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			ペアレントトレーニングを開催できていないため、事業所で個別相談をおこなっている
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			モニタリング以外に定期的な面談は組まれていないが、LINEや電話等でも相談できることを周知していく
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			訪問先の環境に合わせ対面や書面でのフィードバックを行うようにしている

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			計画に記載がないため、今後記載するようにする